

VISION



The Brotherhood of St. Andrew Japan, Inc.

《幻がなければ民は墮落する》箴言29章18節

一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
日本聖公会東京教区会館内
3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo
TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696
http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org

BSA 会報《季刊発行》

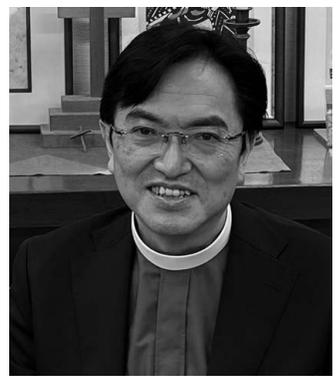
発行人 足立 征三郎
編集者 萩谷 長生
印刷所 株式会社スコポレーション



中部教区主教 按手・就任式

司祭 ダビデ 市原信太郎
去る10月24日(土)、中部教
区主教按手・就任式が行われ、
アシジのフランシス西原廉太郎が
第十代中部教区主教となられ
ました。ご承知の通り、今回の

*“Do your best and
it must be first class”*



中部教区主教
アシジのフランシス 西原廉太

按手式は当初予定の3月28日か
ら二回の延期を経てようやく行
われたもので、関係者同喜びと
共にホッとした気持ちでいます。
今回、聖堂での参加人数は最
小限とせざるを得ず、また海外
ゲストの来日は困難であることか
ら、当日は聖堂で九十名ほど、
また海外からは電子会議システム
を利用して15名ほどが代表で参
列されるほか、ネット配信を通し
て多くの方々にご参加頂きまし
た。式中の会衆の同意の際には、
聖堂の会衆の声に合わせ、教区
各教会から集められた「同意し
ます」「支持します」の声と映
像が上映され、教区全体の臨席
が表現されました。
司式の植松誠首座主教は、ご
退任を控えて最後の主教按手式
となりました。説教者の広田勝

この度、一般社団法人「日本
聖徒アンデレ同胞会」(BSA)
の名譽副会長に、中部教区主教
として加えていただきました。
1883年11月30日、聖アン
デレ日の寒い冬の日に、米国、
シカゴでBSAは誕生しまし
た。
当時のシカゴの路上には、寄
る辺ない数多くのホームレスの
人々がおられました。BSAは
祈りと聖書の学びを通して、こ
のような社会の周縁に置かれた
存在に仕えるために組織された
男子青年会でした。19世紀末か

一主教は、学者でもある新主教
の主教職理解を高く評価される
と共に、今後も主教職と大学教
育・神学教育の働きを合わせて
担う新主教に、神の導きを謙虚
に求めつつ任を果たすよう求め、
教区全体に向けては「神は中部
教区に何を求めているのか、み心
をしっかりと見極め、神を主体とし
て、新主教と共に、一つになつて宣
教する教区・教会であつて欲しい」と
語られました。
式の最後には、新主教が日・英・
韓国語の三カ国語でスピーチをさ
され、各国から寄せられたメッセー
ジが小冊子として配付されまし
た。また、新主教のエキシブニカル
な場での活躍もあり、国内各
教団トップが6名もご参加くださ
るといふ光栄にも浴し、会場に
映された海外ゲストの映像と合

ら20世紀初頭にかけて発展した
YMCA、YWCA、WSCF等
のキリスト教青年運動の、聖公
会における特筆すべき働きとな
りました。現在でも米国には、
357の支部があり、共に祈り、
聖書を学ぶと同時に、貧困問題、
災害支援、人種問題、地域・社
会奉仕等に熱心に取り組んでい
ます。そして、「青年男子をキリ
ストにつなげる」というそのミッ
ションは発足以来、変わることは
ありません。BSA運動は世界に
広がり、日本、アフリカ、ファイ
ピン、英国、カナダ、ハイチの各
支部が活動を継続しています。
日本には、BSAのC・H・
エバンス伝道師が1894年に
来日し、奈良での活動を開始し
たのが出発でしたが、実質的に、
現在のBSAを基礎づけたのは、
立教大学教授であったポール・
ラッシュ先生であったことは言
うまでもありません。ポール・
ラッシュ先生は、1927年に、

立教大学内にBSA日本支部を
創設、以降、立教大学の学生を
中心に、「祈り」と「奉仕」を中
心とするキリスト教青年運動が
豊かに展開されることになりま
す。ポール・ラッシュ先生は、B
SAのリーダーシップ教育キャ
ンプ施設である「清泉寮」を清
里に開設することをはじめ、立
教大学、KEEP協会、聖路加
国際病院などを現場として、日
本における青年育成、社会事業
にその生涯をさげました。

私が大切にしている、ポール・
ラッシュ先生が、立教BSAの学
生たちに語り続けられた言葉があ
ります。それは、「Do your best
and it must be first class.」最
善を尽くせ、そして一流であれ
ます。この言葉自体は、ポール・
ラッシュ先生が戦前、米国で聖
路加国際病院建設のための募金
活動に奉仕していた際に、聖路
加国際病院院長のルドルフ・ト
イスラー博士から伝えられたも
のでした。清泉寮の公式記録に
は、その時のトイスラー博士の
言葉が紹介されています。「ラッ

わせ、異例の形ではありまし
たが、全公会の祈りが合わせられ
た式であることを実感することが
できました。
通常ならば式後に催される祝
会も、ビデオ配信という形で実施
しましたが、こちらが好評だった
ようです。
新主教は、本年四月より立教
大学の総長に就任されることに
なり、ますます多忙となられる
と同時に、前例のないような働
きをなされることになりました。
先行き不透明な中、一生懸命知
恵を寄せ合つて今回の式を実施し
た中部教区全員で、新主教をお
支えすると共に、教区の新たな
歩みを起こしてまいりたいと思
います。
(按手式式典長)

シュ君、もし君が主イエスの名
において事業に取り組むのであ
れば、君は最善を尽くさなけれ
ばならない。しかも、それは人々
が目標とし、まねができるよう、
本物の、一流の仕事でなければ
ならない」
この言葉は、「人が一生にお
いて取り組むべき事業とは、金
や栄誉のためだけではさもない
ものになつてしまふ。正義のた
めに、そして他の人々の向上の
ためになるよう、最善をつくし
なさい」という意味でした。以
来、ポール・ラッシュ先生は、
この言葉を胸に刻み、人々に希
望を与え、立教大学の学生たち
をはじめとする、次代を担う若
者へのメッセージとして伝え続
けたのです。「最善を尽くすこ
と」。それは、決して「勝つこと」
が目標ではありません。自らに
与えられた「ミッション」に最
善を尽くして取り組むこと。仮
に願っていた結果が得られな
かったとしても、その一つひと
つの仕事や働きが「一流」であ
ること。そのプロセスに「誇り」
を持つことができるように、誠
実に、丁寧に、祈りをもって、
最善を尽くすこと。
私は、はからずも本年4月か
ら立教大学第22代総長に就任す
ることとなりました。「Do your
best and it must be first class.」
という、かつてポール・ラッシュ
先生がBSAの若者に語り続け
た言葉とその意味を、再び立教
大学の学生たちに伝えることに
そが、総長として私に与えられ
た「ミッション」であると確信
しています。立教は2024年
に創立150周年を迎えます。
2027年は、日本BSA創立
100周年の記念の年です。
BSA、立教大学、そして日
本聖公会の、まさしく兄弟とし
ての絆を、主が豊かに強めてく
ださることを祈ります。

BSA第107総会・記念礼拝



2020年11月28日(土)に開催予定だった第107総会は...

記念聖餐式、入会式・再宣誓式は総会と同日、午後1時から...

公示

一般社団法人 日本聖徒アン...

記

日時 2021年2月27日(土) 午後1時より

議案

2020年度事業活動報告及び会計収支決算(案)承認の件

宣教協働区

伝道教区制の導入 一管区第65(定期)総会

日本聖公会第65(定期)総会が昨年10月27日から29日に...

宣教体制の強化と教区再編成を促す法規改正や2022年開催の宣教協議会などの議案を...

宣教協働委員会を形成する区分けは、東日本宣教協働区として、北海道、東北、北関東、東京各教区。

中日本宣教協働区として、横浜、中部、京都、大阪各教区。西日本宣教協働区として神戸、九州、沖縄各教区とした。加えて、教区再編成を目指して管理主教体制で運営する伝道教区という在りようが可能となった。

また、10年ごとに開く宣教協議会を2022年11月に山梨県清里で開催することを決定した。2018年に発行された『聖書協会共同訳』聖書を日本聖公会の礼拝において用いることを認許した。今回は新型コロナウイルスの影響で、管区事務所と各教区を結びリモート開催となった。

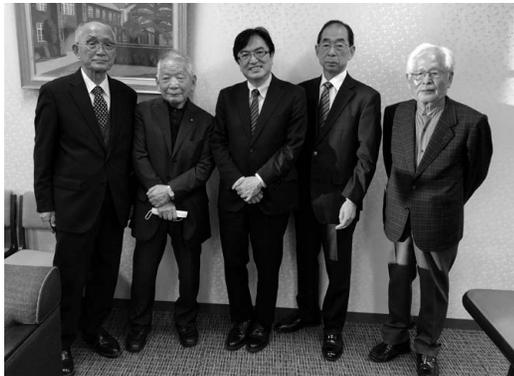
首座主教に武藤九州教区主教

この総会で、植松誠北海道教区主教に代わって、九州教区の武藤謙一主教が第19代の首座主教に選出された。任期は次の管区総会までの2年間。

BSAでは、「定款」に基づき、11月24日、足立会長の代理として木島・尾崎両副会長が武藤謙一首座主教を訪ね、名誉会長に推戴した。(理事 ダビデ吉松英美)

西原主教を表敬訪問

11月17日(火)に武藤六治名誉チャプレン、尾崎茂雄・木島出副副会長および萩谷長生編集担当理事の4名が立教大学文学部長室に西原廉太中部教区主教を表敬訪問した。和やかな雰囲気での懇談の中で今後のBSA活動への協力をお願いし、名誉副会長推戴状をお渡しした。



ポール・ラッシュュから受け継ぐもの(2) キープ協会元専務理事 ミカエル 正木 實 清里の父 八ヶ岳のすそ野に広がる山梨県北杜市のリゾート地清里。「清泉寮」の一角にポール・ラッシュュの胸像がある。 1938年、ポール・ラッシュュはこの地にキリスト教の研修施設「清泉寮」を建て、酪農を中心とした新しい農村共同体を目指した。地元ではラッシュュを「清里の父」と呼ぶ人もいる。 1931年、日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)を設立。信仰と使命感に燃えた情熱、抜群な組織力と人間的魅力に支えられて、会員数は飛躍的に伸びたという。 私はラッシュュが清里に設立した財団法人「キープ協会」に54年間勤め、彼の晩年20年間を身近かで過ごした。 ラッシュュとの出会いは、1954年の夏、立教大学の2年生の時、友人に誘われて清泉寮に2ヶ月滞在したのがきっかけである。 当時の清泉寮は再建中で、牧草地の開墾や宿泊施設の整備などにボランティアで参加した。「よーつ、どうぞ」。初対面の私の姿を今でも鮮やかに思い出す。 ずんぐりした体全体から人なつとことが溢れ出てくるようだった。 卒業後、私はキープ協会に就職して、清里に住み込んだ。 彼は1925年アメリカのケンタッキー州から来日し、関東大地震で倒壊したYMCAや聖路加国際病院の再建に奔走した。 その後、聖公会の宣教師として立教大学の教壇に立った。 日米開戦で1942年6月米



国に送還されたが、終戦後、今度は連合国軍総司令部(GHQ)の情報将校として再来日した。清泉寮を再建し、清里をキリスト教民主主義に基づく日本再生の拠点にしようと踏み出した。 高冷地清里の牧場に寒さに強いジャージー種の乳牛を導入した。「弘道所」という集会所を作り、生活改善運動の拠点にした。私たち職員は映写機を担いで集会所をまわり、上映会を開いた。 ラッシュュは、日本の社会に見合った民主主義を日本人が育てて欲しいと口癖のように言っていた。 ラッシュュは、くわえタバコがトレードマークで、日米の有力者あてに募金を依頼する手紙を書きながら、ウイスキーを傾けていた。 教会の朝の祈りをすっぽかして寝ていると、「教会に行け」と真つ赤な顔をして怒鳴られた。高邁な理想だけでなく、人間臭い側面も大きな魅力であった。 晩年の澄み切った目 晩年、ラッシュュは、心臓を病んだ。それでも朝の4時には起き、一心不乱に募金依頼の手紙を書いた。最期まで日本への支援を訴え続けた。 1979年12月12日に亡くなった。82歳であった。亡くなる前日に病院へ見舞うと、「清里を離れてどうする。早く帰れ」と小言を飛ばした。彼の青い目は、実に澄み切っていた。人生を全うしたという思いが現れていた。 彼の精神である「祈りと奉仕」、さらに「最善を尽くせ、そして一流であれ」を次の世代に引き継いで行きたいと思う。 次号予告 ポール・ラッシュュから受け継ぐもの(3) 執筆は「清里の父」ポール・ラッシュュ伝の取材執筆者 井尻俊之氏

1931年、日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)を設立。信仰と使命感に燃えた情熱、抜群な組織力と人間的魅力に支えられて、会員数は飛躍的に伸びたという。 私はラッシュュが清里に設立した財団法人「キープ協会」に54年間勤め、彼の晩年20年間を身近かで過ごした。 ラッシュュとの出会いは、1954年の夏、立教大学の2年生の時、友人に誘われて清泉寮に2ヶ月滞在したのがきっかけである。 当時の清泉寮は再建中で、牧草地の開墾や宿泊施設の整備などにボランティアで参加した。「よーつ、どうぞ」。初対面の私の姿を今でも鮮やかに思い出す。 ずんぐりした体全体から人なつとことが溢れ出てくるようだった。 卒業後、私はキープ協会に就職して、清里に住み込んだ。 彼は1925年アメリカのケンタッキー州から来日し、関東大地震で倒壊したYMCAや聖路加国際病院の再建に奔走した。 その後、聖公会の宣教師として立教大学の教壇に立った。 日米開戦で1942年6月米

聖路加フレンズは、健やかなところとからだをつくるための 会員制健康クラブです 03-3541-1056 受付時間 平日9:00~16:00 (土・日・祝日を除く)

創立の恩人 ポールラッシュュ 学校法人メイウシヤマ学園 ハリウッド大学院大学 ハリウッド美容専門学校 〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ 0120-083394 www.hollywood.ac.jp

107総会に会員から
寄せられた意見・提案等

◆ BSAは各地域においての活動が大切かと思う。東京と千葉が離れることの無いように！
(房総支部 池田 稔)

◆ オンライン会議の対応・対策を研究すること。教区・管区・全聖公会レベルで対応・対策を研究してほしい。
・BSA賛助会員のためのプログラムを多く設けること。
・2022年11月に清泉寮で開催される宣教協議会にBSAが積極的に関係する事が望ましく、そのための勉強会の開催を！
・BSAのキリシタン研修(国見先生指導)の内容をまとめた冊子の作成を！
・KEEPに注目を深めること。
(房総支部 倉石 昇)

◆ 健闘を祈る。
(房総支部 高橋正二)

◆ 厳しい環境の中、BSA運営への尽力に敬意と感謝を表す。
(房総支部 永井義行)

◆ BSA会員の一人であることを意識しなかったことは一日もない。微々たる奉仕ながら与えられた能力で頑張っている。BSAすべての営みに御祝福が豊にあるよう！
(房総支部 永田保信)

◆ 計画通りの実施を願う。
(北総支部 岩間光雄)

◆ 「祈祷と奉仕」を旗印に頑張ろう！
(清里支部 野田 徹)

◆ コロナ禍での事業運営に感謝。
(清里支部 武藤直二)

◆ 英語から訳した「同胞会」を若い方々に通じる訳語に変えてはどうか。皆が理解し、仲間を増やす工夫を！
(福岡支部 外池圭二)

◆ 日本聖公会との連携を深めるため、今抱える問題や将来の展望について担当制を設けて討論会を開いたらどうか。
・聖公会関係学校との連携を深め、その存在意義を伺い、VISIONに掲載したらどうか。
(個人会員 丸茂晴彦)

◆ 日本聖公会総会で可決された「宣教協働区・伝道教区」制度について勉強会をBSA主催で開催してほしい。
(北総支部 渡邊雄介)

◆ コロナ対策と共に「遠方の理事、支部長等との会議」もリモートは役立つので、そのための支出を会計収支予算に計上してはどうか。
・青少年キャンプは今年度は中止して、コロナの状況下で、どのようにしてBSAが会員の力となり、信徒が教会の力になれるかに注力した方がよい。
平塚聖マリヤ教会支部
(小室喜雄)

◆ BSAの抱えている問題を直視し、懸案事項を解決しようとする決断力を理事会に求める。
・新支部結成のための交通費を計上して欲しい(例えば、名古屋出張など)。
(個人会員 松岡正治)

(順不同、文責・編集部)

支部だより

林間支部

並木・江原小平3兄をしのぶ会

林間支部

パウロ 金子 眞

今年林間支部で相次いで逝去されたパウロ並木伸裕、セオドール江原重則、クリストファー小平基の各会員をしのぶ会が11月22日(日)に林間聖パウルバ教会の礼拝堂で当支部が主催する形で行われました。



10時半から始まる聖餐式の前、慌ただしい時間でしたが、支部チャプレンの片山謙司祭、正会員、賛助会員、それぞれのご遺族、信徒の皆さんなど計32名が出席しました。BSA本部からは木島出副会長が来られ、また大居雅治司祭夫妻はじめ多くの方から電話等によるメッセージも数多く寄せられました。

以下、多士済々であった故人の為人(ひととなり)の一部を紹介いたします。

並木伸裕兄は元林間支部長。彼は私の同級生で、学生時代は日本トップクラスのバドミントン

清里支部で再宣誓式

清里支部長

理事 アブラハム 野田 徹

去る11月15日(日)清里聖アンデレ教会において、清里支部毎年恒例の「支部会員再宣誓式」を行ないました。

当日は野田支部長以下4名の清里支部会員が集まり、聖霊降臨後第24主日の礼拝に引き続いて、大野清夫支部チャプレンの司式のもと、BSAの式文に従って再宣誓の証と祈りをお献げし、新たな1年の歩みのために思いを新たにすることができました。



小平基兄は前BSA林間支部長。故人は林間で最も長く信徒奉事者として奉仕しました。かつてロサンゼルスでカーレーサーとして名を馳せ、後進のヒロ・松下(松下幸之助の孫)をレーサーとして育て、帰国後はトヨタの中心選手・監督として活躍。

私は基君のお父上磐雄氏、山岸樹郎司祭(北関東教区)、佐藤六郎先輩(柏聖アンデレ教会の生みの親)の三先輩に影響を受けた不思議な縁を感じます。

しのぶ会では皆で懐かしい映像を見ながら思い出話を語り合い、最後にBSA愛唱聖歌525とチャプレンによる閉会の祈りで会を閉じました。

新しい年も、それぞれが支部会員としての誇りとコミュニケーションの精神を胸に、「祈祷と奉仕」の精神を胸に、喜びのうちに「み国の拡張」のための奉仕が続けられるように頑張ってくださいと思います。

★一般ご家庭の引越し 事務所引越
★オフィスの引越 のエキスパート!!
★フロアーの移動
★各種展示会セッティング etc...
Grec 株式会社ギンテック
港区港南3-4-12
TEL 0120-223-008
TEL 3471-5313

ホームメイド・チーズケーキの店
CHEESE CAKE JOHANN
HOME MADE
和 田 博 子
目黒区上目黒1-18-1
TEL 3793-3503

立教企画グループ
学校業務受託、人材派遣等承ります。
株式会社 立教企画
株式会社 立教オフィスマネジメント
株式会社 立教ファシリティマネジメント
株式会社 立教ライブラリーマネジメント
http://www.rikyo-planning.co.jp

求人・求職は
@36 オフィスカネコ(株)
(有料職業紹介許可 14-ユ-300917)
代表取締役 金子 眞
携 帯 : 090-3428-1938
E-mail : toriton.ocn.ne.jp

「信徒の奉仕・召命コース」を受講して

聖公会神学院が昨年開講した「信徒の奉仕・召命コース」の初年度が12月に終了した。このコースの目的は次の4つである。

1、キリスト者としての信仰を深める。
2、キリスト教、聖公会及び教会についての正しい知識と認識を養う。

3、信仰的な「奉仕」について、社会的に求められる働きを思考する。

4、「召命」について、祈り、学び、奉仕を通して見つめ直す。受講期間は4月から12月までの8ヶ月で、受講には教区主教の推薦が要る。

履修内容は、基礎科目として聖書、教会史入門、教会の礼拝、聖公会論のほか、選択科目として、み言葉の礼拝、牧会学、教理学、神学特講、体験学習等が用意されている。

初年度のコースを受講した三人は、何を学び、経験したのか、感想を寄せてもらった。
(編集部)

札幌聖ミカエル教会

ミカエル 直井 岳

新型コロナウイルスの影響で5月からスタートした神学院での生活。このような恵まれた環境での学びはもちろん、神様と向き合い、自分を見つめ直す機会に心から感謝している。

神学院での生活は、私に「共に生きる」ということの大切さを教えてくれた。

この「共に生きる」とは、神学院で、先生方や事務の方々、特に他の学生とただ共に学んだり、ご飯を食べたりすることではない。他者の苦しみ、悲しみ、罪を自らが背負い、また慰め、励まし、勇気づけること。隣人が自らを愛しているように、自らも他人を愛すること。他者が自らを救すように、自らも他者を救すこと。そしてお互いが助け合い、支え合って生活するということ。実際、神学に対する知識が足りない私は他の学生、先生方に助けられた日々であった。

この「信徒の奉仕・召命コース」は、神学院に関わるすべての人との共同生活の中で、自分と向き合い、わたしたち信徒に今、必要なスキル・知識を心と体で学べる場所である。相手のことを純粹に心から知ろうとする思い、相手の意見を受け入れる優しさ、相手の悲しみや幸せと一緒に分かち合うことができる心を養うことができるところだと思ふ。

この一年の学びのお恵みに感謝するとともに、聖職と信徒が協働して神の宣教に共に仕える豊かな道を探求しつつこれからも歩み続けたい。

横浜山手聖公会
セバスチャン 染谷孝章
学びの一つ目は歴史を辿ることが出来たこと。多くの人が翻訳作業に携わり、教義が闘わされる中で聖書が整えられてゆ

き、信条があることを知りました。聖書について私は改めて依って立つところが揺さぶられるような動揺さえ覚えました。信仰を求め先達たちの命を懸けた取り組みを学び、各時代に身を置いて、その歴史の上に今の自分が立っていることに身を引き締めています。

二つ目の学びは聖公会が持つ豊かさの再認識。真理を探究しつつも絶対化しない姿勢、その確かさは絶対的なものではなく蓋然性の上に成り立っていると

また、授業では教会共同体(聖職と信徒)のあり方にも指針を与えていただきました。7月から毎主日教会実習に出ました。そこで家庭環境が心配な不登校の子と束の間の交わりを持ちました。イエスが示しておられる視座を見出そうとして感じる自分の非力さ、やるせない思い。寮の食事中にその子がどうしているか思い出し、朝夕の礼拝に唱える祈りがひしひしと染みてきます。

聖職候補生としての道行きでこうした思いは繰り返されるのでしよう。降臨節を迎え、「御国が来ますように」を口にすると、主を信じて祈り歩んでまいりたいと思います。

帯広聖公会
ダニエル 尾関敏明
入学時には、私の様な高齢者が果してここの学びについていけるのかという心配で一杯でした。

前期の授業は無我夢中で、あつという間に過ぎてしましました。毎日の朝夕の礼拝も最初は緊張しましたが、慣れるにつれて、自分の生活の大切なリズムとなりました。

礼拝に始まり、礼拝に終わる日々はとても清々しいものです。学びは、驚きと感動の連続です。新しい知識が機関銃の弾の様に撃ち込まれてきます。しかし、全てが一つの関連の中にある学問であることが分かってくると、とても豊かな学びであると気がつきました。

キリスト教二千年の歴史は人類の精神史そのものです。それを専門の講師から学ぶことが出来るのは神学院ならではの事です。

「信徒の」という表題がついている通り、今まさに、信徒の奉仕と召命が強く求められています。その信徒とは、神の民としての信徒であり、聖職だけでなく、全ての信徒の召命を求めたものです。神の民の共同体としての私たちが奉仕の喜びとともに生活してゆくために、このコースは貴重な学びの機会となります。

神学校の卒業・入学礼拝予定

聖公会神学院

卒業礼拝 3月1日(月)
入学礼拝 4月6日(火)

ウイリアムス神学院

卒業礼拝 卒業予定者不在のため、実施しない。
入学礼拝 4月7日(水)

ポール・ラッシュ逝去記念礼拝

理事 アブラハム 野田 徹

去る12月12日(土)、清里聖アンデレ教会において、ポール・ラッシュ逝去41周年を記念して、キープ協会の浅田理事長はじめスタッフ約15名が出席し、大野清夫司祭司式による逝去記念聖餐式が行なわれました。



今年にはコロナ禍の影響で外部からの出席者はありませんでしたが、BSA清里支部から野田支部長がサーパー奉仕し、ポールラッシュ博士の偉業を偲びました。

VISION編集と私

テモテ 萩谷長生

ベテランの永井信行前編集長からVISIONを引き継いだのは5年前でした。当時二人だけだった編集部は、その後増員され、現在は永井信行、吉松英美、松平謙次、松田正人、内野明和の各兄と私の6名。多士済々の陣容で、それぞれ与えられた賜物を生かしてVISION作りに勤しんでいます。

地味な作業を担う編集委員にとつて、皆さまからの投稿は何より

の励みです。本紙愛読者の期待に沿った内容を実現するためにも、先ずはより多くの方々からの声を寄せていただきたく、この機会に改めて積極的な投稿をお願いします。

さて、このような現状の中で私自身は万事覚束なく、常々苛立ちを感じています。しかしBSAの「奉仕の精神」を実践する場と捉え、開き直って牛歩の歩みながら責務を果たすよう心がけています。

私の役割分担のついでに、数次の校正の後半で記事の割り付けを見直すルーチンがあります。言わば「地面師」の世界であり、「切った、張った」の悪役を演じることになりました。これも時として執筆、編集仲間や制作現場の不興を買うのを承知の上で我流を通して行っています。

閑話休題。「VISION文芸」欄には俳句と短歌を掲載しており、4名の会員からの投稿を頼りに毎号連載を続けています。望ましくは多くの方から作品が寄せられ、その中から(選者が)秀作を選定する形を目指したいところです。

余談ですが、文芸欄を始めて間もなく、常連の松岡正治氏に次号への投句を依頼したところ、「お願い」だけでなく担当者自ら率先躬行すべしと檄を飛ばされたことがありますが、これが私の短歌作り事始めの所以です。爾来、懲りずに駄作を投稿し続けています。

以上、昨今のツイッターを真似て脈絡のない呟きを書き連ねました。本稿の本音は、高尚でなくとも紀行文や身辺雑記など、内容を問わず原稿をお寄せいただきたい点に尽きます。どうぞよろしくお願いたします。
(理事、編集担当)

信徒叢書のある風景(6)

東京教区 真光教会

真光教会のある町田市は、東京の南部にあり、神奈川県に隣接する。人口およそ43万人。東京や横浜のベッドタウンとして発展してきた。

この町に教会が40もあると聞けば、誰しも驚く。まさに「教会の街」である。

1875年創立というから、東京教区では最も古い部類に入る。真光教会が東京北区から町田へ越えてきて45年以上経過した。

この教会に信徒叢書の書架が設置されたのは、2007年ごろ、鈴木裕二司祭の時期である。

当時BSAの高橋恵太郎理事が、心血を注いで制作し、各支部に頒布した記録が残っている。

一昨年は、今井丞治司祭を招いてご自身の著書『聖公会という名の教会』(一、二、三、四)をテキストにして勉強会をした。

自分用にワンセット、そして姪のためにもワンセット購入したという人がいる。本好きの多い真光教会らしいエピソードである。



教会は小高い丘の上にある。十字架がひときわ高くそびえる。ここからの眺めは快適である。書架は石段を登った正面入口

を入ったところにある。

真光教会からは、2018年に30冊、2019年は20冊の注文があった。緩やかではあるが、しかし、着実に読み継がれている。(理事 ダビデ吉松英美)

信徒叢書の経済学

理事 ダビデ 吉松英美

14年ぶりの新刊発行

昨年10月のこと、理事会で次年度の事業活動ならびに収支予算案を審議していた時、信徒叢書の新刊発行経費と初年度の回収見込みが話題になった。

印刷製本経費に対していくら回収できるかという話である。

2021年度は、14年ぶりに新刊3点の発行を予定しており、予算では、1点あたり15万円として計45万円を計上した。

回収見込みは旧刊の増刷分も含めて10万円を計上した。

新刊各1,000部の発行に對して、初年度300部ずつ売ると仮定して3点で900部。金額は頒価100円として、計9万円。

「たったそれだけか」という人もいようが、300という数字はBSAの会員数でもあることを忘れてはいけない。つまり300人全員が3点の新刊をそれぞれ1部ずつ購入したと仮定した時の金額が9万円である。そう考えると、「たったそれだけか」とは簡単にはいえない。

会員諸兄弟、各教会、支部のご理解とご協力が欠かせない所以である。これこそがBSA本来の伝道活動であろう。

叢書創刊時のVISIONには、「伝道の書として発行する」と書いてある。そのため当初は無料で配布していたと聞く。奥付には今も価格の表示はない。

伝道の書こそが使命

第1期の信徒叢書が発行されたのは、1988年の4月。竹内寛著『聖公会という名の教会』(一)である。以来2007年3月の飯田徳昭著『米国聖公会』(二)まで合計18点。

今も毎年数百部の注文がある。教会や支部での勉強会、聖職者からの薦め、神学校の課外教材、病者訪問、プレゼント等信徒叢書は金銭には換算できない教育的、文化的役割を果たしている。

話をわかりやすくするために回収とか頒価といういい方をしていながら、頒価については伝道の書としては、「献金」というのが妥当であろう。

信徒叢書の収支は、金銭の経済学よりも、文化の経済学として考える方が伝道の書にふさわしい。それこそBSAの知的財産のあり方ではないだろうか。

会員諸兄弟の限らないご支援に期待する所以である。

キープ協会におけるコロナ禍の影響

コロナ禍の影響

財団法人 キープ協会副理事長

ヨハネ 桑田秋光

日頃、キープ協会の近況については、VISIONの紙面をお借りしまして、会員の皆様にお知らせしております。貴重な紙面をお借りできることに御礼を申し上げますと共に、この半年の間、BSA会員の皆様からの激励と励ましの言葉をいただきまして感謝申し上げます。

キープ協会の事業は、その収入の約8割以上が宿泊、飲食、売店と観光事業に依存しており、今回のコロナ禍の影響で甚大な損失を被りました。

緊急事態宣言が発令された4月、5月は、本当にキープ協会が存続できるのか、不安な日々を送りました。宿泊予約が毎日数百件とキャンセルになっていく状況がしばらく続きましたが、金融機関の支援、国からの助成金の援助もあり、なんとか危機を乗り切ることができました。その後、緊急事態宣言も解除され、感染も少し落ち着きを見せ始めた頃から少しずつですがお客様が戻ってまいりました。

4-5月は収入が前年に比べて20%程度でしたが、7月にはGOTOトラベルが開始され50%、8月で60%、9月には75%までに回復することができました。さらに、10月に入りまして東京がGOTOトラベルに追加され、地域クーポン取り扱いが開始され、多くのお客様がキープを訪れるようになり、ようやく収入も昨年と同じ位に戻ってまいりました。

存続が危ぶまれる不安からはとりあえず解放されたような感じがします。しかしながら感染が最終的に収まったわけでもなく、まだまだ油断出来ない状況にあり、観光事業そのものの完全復活には時間がかかりそうです。今、宿泊施設を利用されるお客様にとって一番心配されていることは、安心安全に過ごせるかです。国のガイドラインに沿って館内の消毒、利用者・職員の検温、館内の換気等について徹底させておられます。また、山梨県が独自で制定した「やまなしグリーンゾーン」認証も取得し、万全な感染予防対策を取っております。

キープ協会としては是非とも継続していかねばならない事業として、国内外からの研修生の受け入れ、地域学校団体との連携、聖公会関連の夏季キャンプ等がありますが、今年にはコロナの影響で全てのプログラムが残念ながら中止になりました。来年度からの再開を期待しております。80年前にポール・ラッシュ博士が青少年育成の為の訓練施設として創設した宿泊施設ですが、その後時代の変化とともに、単に宿泊研修施設でなく、広く多くの方々にも利用できる宿泊施設に変化を遂げました。

最後に、一日も早く感染が終息に向かい皆様が安心して利用できる日お待ち望んでおります。(編集部注：この原稿は第3波の感染拡大以前に書かれたものです。)

ZOOMはもうお使いですか？

理事 アブラハム 松田正人

コロナ禍が生んだ新しい手法、ミーティングをオンラインで行うWEB会議の先行アプリ。ズームと呼びます。どこかの川柳で「じいほど、ZOOMで会議やりたがる」とありましたが、食わず嫌いを脱却すればこんな簡単便利なものはないと実感しています。管区の総会も教区の常置委員会もZOOMの時代です。さて、ZOOMを使うには主催者になる場合と参加者になる場合の二つのケースがありますが、まずは初心者として、誘われて参加する立場から始めてみましょう。主催者になるには有料コースと無料コースがありますが、参加するだけなら無料です。

まず必要なものは、パソコンかタブレットかスマートフォン。パソコンの場合にカメラやマイクがついているものもありますが、ついていないデスクトップ型パソコンなどの場合はカメラ、マイク、あるいはマイク付きWEBカメラを追加する必要があります。Amazonで3千円くらいです。Zoomなどのタブレットやスマートフォンならマイクもカメラも不要です。

まず準備としてインターネット経由でZoom(アップストア)などからZOOMのアプリをインストールしましょう。無料です。次に主催者からZoomで招待URL(アドレス)またはミーティングID(11桁の数字など)が送られて来ますので、ZOOMのアプリを開いて「ミーティングに参加」をクリックしミーティングIDを入力します。その入力画面に表示してほしい名前(基本は氏名です。漢字でもアルファベットでも)を入力します。

すると今度はパスワードを入力してくださいと表示されますので、さきほどのURLにあるパスワードを入力します。「インターネットに参加しますか」にもYESを。機種によって違いますが、わたしのタブレットだと右上の方にマイクの表示があり、マイクを生かせばこちらの声が、マイクをミュートにすればほかの人の声だけが聞こえます。ビデオで参加にしておきたいとこちらの顔が映りませんので要注意です。

次に左上にマスの表示が出ますので押してみると、参加者の顔を皆映すことができるようになります。人数が多いと映りきらないですが、画面を動かすと見えます。参加者全体を映すことや発言者だけを映すことも切り替えてできますのでやってみてください。

私はBSAの会議のほかに、高校時代の仲間との雑談や、合唱仲間とのZOOM飲み会にも参加しています(自分のお酒を手酌で飲んで、馬鹿話を展開するだけですけど)どうぞ、お試しください。まずは知識のありそうな人が加わっているメンバーで始めることをお勧めします。

清里高原だより 清泉寮ニュース

コロナ禍の清泉寮 感染拡大予防の取り組み 感染拡大予防策を図った清泉寮

2020年の初頭に発生した新型コロナウイルス感染症は、感染者数が8千万人を超える世界的な流行病(パンデミック)となり、清泉寮でも、ゴールデンウィークには全ての施設を封鎖、「ポール・ラッシュユ祭」も開催を中止する等、試練の1年となりました。

不安の絶えない日々が続いていますが、清里高原は本格的な冬となり、八ヶ岳ブルーの空と満天の星空を毎日のように楽しむことができる美しい季節を迎えています。

清泉寮では、お客さまが安心してご利用いただけますよう、WITHiコロナ時代に試行錯誤を繰り返して、万全の感染拡大予防に取り組み日々が続いております。

- **感染症予防の取り組み**
- 清泉寮では、お客さまならびに従業員の健康と安全を第一に考え、以下のような取り組みを行っています。
- ・スタッフ及びご宿泊のお客さまへの検温の実施
- ・共有箇所の定期消毒
- ・消毒液の設置
- ・ご滞在時の間隔の確保
- ・室内換気の徹底
- ・マスク着用
- ・飛沫感染防止シールドの設置



写真：清泉寮ジャーニーハット

● **「冬のハイライド」運行中!**

トラクターの荷台に乗って普段入ることができない牧草地を周遊する人気アトラクション「冬のハイライド」が運行中です!

の「ハイライド」が運行中です! 一年で最も美しい景観が楽しめるこの時期、富士山や南アルプス、八ヶ岳など、雪化粧をした山々の360度のパノラマと「八ヶ岳ブルー」と呼ばれる、吸い込まれるような青空のコントラストの見事な絶景が楽しめます。

3月28日までの土日祝、11時半、13時半の一日2便運行です。乗車チケットは清泉寮ジャーニーハットで販売。半券で清泉寮内のレストランや売店にて割引チケットとしてご利用いただけます。



● **冬のあったか新メニュー**

清泉寮本館レストランでは、冬の新メニュー、「ズワイ蟹とジャージーミルクのペンネグラタン」を限定でご提供しています。

清泉寮では現在90頭ほどのジャージー牛を飼育しており、冬は牛乳の乳脂肪分が高まり一段と濃厚になります。その恵みを活かした清泉寮シェフ自慢の逸品です。

清泉寮ジャージー牧場の有機ジャージーミルクをたっぷり使用しており、まるで生クリームを使用しているような濃厚でコクのある風味、冬を代表する食材であるズワイ蟹のほく

し身と蟹味噌をふんだんに入れ、季節感と特別感を演出しました。2月28日までの販売です。ぜひご賞味ください。



※新型コロナウイルス感染症の影響で、体験やイベント等は変更になる場合がございます。清泉寮ホームページで、あらかじめ最新情報をご確認ください。

● **寒いほどお得フェア**

毎年恒例、朝の最低気温でその日の割引率が変わる「寒いほどお得フェア」が、1月16日(2月21日)の期間で今年も開催します。清泉寮では、本館レストランの清泉寮カレー、清泉寮ジャージーハットのソフトクリームと人気のミルクパンが対象です。この機会に、八ヶ岳エリアのお得なグルメをご堪能ください。

最大 **50%OFF**

雪が日印だよ

本日 清里駅前 AM10:00

-5.0°C 50%OFF

「VISION」文芸

野田 徹

行く秋や先輩偲ぶ再宣誓
アドベント再会嬉しいマスク顔
丹波から元気の便り栗ごはん
雲辺 (松岡正治)

趣味同じ帰日も同じ百合の花
蜜豆や銀座の午後の裏通
釣銭の多き時にはバナナ買う
手短に話せば分る春の夜
言うだけの事は言いたし春の山

萩谷長生

兎に角も掃除終りて竹めば
柚子湯煙りて冬至黄昏る
初夢は勧話しくじり目覚めたり
エビバナ二前の司式当番
吉松英美

差別への怒りを込めて棄権する
大坂なおみの全米オープン
「テニスよりもっと大事なことがある」
社会を動かすなおみの言葉
黒マスク日替わりで出す犠牲者の名こそ尊き白抜きの文字

お詫び・訂正

107総会資料中、新入賛助会員「中西玉巳」さんの読み「ナカニシ タマミ」は「ナカニシ タマキ」でした。お詫びして訂正いたします。

会費納入のお願い

BSAの運営は皆さまの会費、賛助会費を財源として賄われております。会費納入にご協力のほどよろしくお願いいたします。郵便振替または銀行振込みのいずれでも承っております。

郵便振替口座

0017005187165

銀行口座

- 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店
- 普通預金 4057002
- 一般社団法人
- 日本聖徒アンデレ同胞会
- (イッパンシヤダンホウジンニホ
- ンセイトアンデレドウホウカイ)

訃報

ジェームス 君塚重春兄 (84歳)
(立教学院諸聖徒礼拝堂)
9月2日逝去

編集後記

・西原廉太新主教には立教大学総長就任も控えて超多忙の中、巻頭言を寄せていただきました。本紙では珍しい見出しの英文表記には蘆田信裕兄の協力を得ました。共に感謝です。

・テレワーク中心の編集では痒いところに手が届かないもどかしさは否めませんが、今号も無事お届けできることに編集部一同ホッとしています。(N・H)